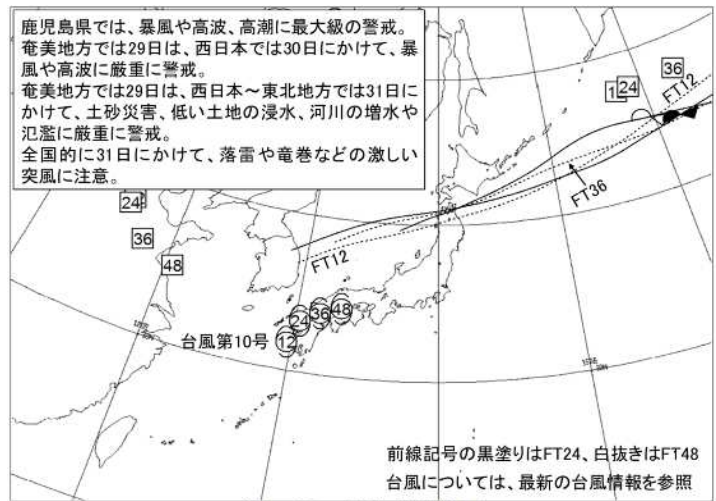


1. 実況上の着目点

① 非常に強い台風第10号が、枕崎市の南南西の海上を北上。台風周辺では、九州南部や奄美地方では、猛烈な風が吹いて、うねりを伴った猛烈なしけとなっている所がある。鹿児島県では、暴風と波浪の特別警報を発表している。

② 南西諸島や西～東日本の太平洋側では、台風本体の発達した雨雲や台風周辺及び太平洋高気圧縁辺からの暖かく湿った空気の影響で、大気の状態が非常に不安定となっており、雷を伴った非常に激しい雨や激しい雨が降っている。台風本体の発達した雨雲の影響により、九州南部の太平洋側では、局地的に猛烈な雨が降っている所がある。九州南部、静岡県、愛媛県では、土砂災害警戒情報を発表している。

③ 前線が日本海から東北地方を通り、千島近海にのびている。前線に向かって太平洋高気圧から暖かく湿った空気が流入し、大気の状態が非常に不安定となっている。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

① 1項①の台風は、引き続き北上し、30日にかけて九州に上陸し、四国付近まで進む。この台風の影響により、奄美地方や西日本では、引き続き、30日にかけて猛烈な風が吹いて、うねりを伴った猛烈なしけとなる所がある。鹿児島県では29日は暴風やうねりを伴った高波、高潮に最大級の警戒。奄美地方では29日は、西日本では30日にかけて、暴風やうねりを伴った高波に厳重に警戒。また、台風本体や台風周辺及び太平洋高気圧縁辺からの発達した雨雲がかかり、奄美地方では29日は、西日本～東日本の太平洋側では31日にかけて、雷を伴った非常に激しい雨や猛烈な雨が降り、大雨となる所がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒。落雷や竜巻などの激しい突風に注意。また、九州北部地方では29日夜にかけて、九州南部では30日午前中にかけて、四国地方では30日夜にかけて、引き続き、線状降水帯が発生して大雨災害の危険度が急激に高まる可能性がある。また、台風の動きが遅いため、猛烈な風や猛烈なしけとなる時間が長くなり、総雨量が多くなるおそれがあることに留意。

② 1項③の前線や暖かく湿った空気の影響により、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った激しい雨が降り大雨となる所がある。東北地方では31日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒し、落雷や竜巻などの激しい突風に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。台風については、西日本へ上陸した後の予報の不確実性が大きい。最新の台風情報を参照。

4. 防災関連事項 [量的予報等] ①雨量(06時からの24時間)：九州南部600、四国・九州北部400、東海300、関東甲信・近畿200、伊豆諸島・中国120mm。②波浪(明日まで)：九州南部9、奄美8、四国・九州北部7、東海・近畿6、関東甲信・伊豆諸島・中国4、沖縄4、東北3m。③高潮(明日まで)：西日本で警戒基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 「台風第10号に関する情報(総合情報)」を5時頃に発表予定。